

彩小ふれあいだより

平成 22 年 9 月 28 日

広島市立彩が丘小学校

校長 竹川 智子

第3回 PTA 教育講演会



9月5日(日)3・4校時、2校時の授業参観の後、体育館において「PTA 教育講演会」が開催されました。今年のご講師は府中町教育委員長 藤原 凡人 先生です。安芸郡府中町の小学校で校長をつとめられ、現在は教育委員長や、小中学校の講演会や授業研究会のご講師などでご活躍中です。演題は「ことばの力、心の力」をお願いしました。5・6年生と保護者・地域・教職員、約320人が体育館に集いました。

はじめに、合唱クラブのNHK学校音楽コンクールでの金賞受賞の歌声を聴いていただきました。満場の拍手で中国コンクール出場を激励していただきました。藤原先生は合唱クラブを一つの目標に向けてがんばる姿が美しいと評言してくださいました。学校教育も同じであり、学校あげて一つに向けて取り組むことの大切さを言われました。私も全く同感で、本校はことばの教育を重視しており、読解力、伝え合う力、読書力の育成を大切にしています。藤原先生の講演は大変心に響くものでした。以下藤原語録です。

- ・ 自分の運転手は自分です。自分をよい方向に自ら運転して動いていく。
- ・ 自分を育てるのは自分です。自分の中の自分を育てるのです。
- ・ 見苦しいのは自分のおろかさに気づかないことです。
- ・ 人は心の中を全部外に出さない。今、暮らしている中で、心傷めている人、苦しんでいる人に思いをもつこと。もてる人になってほしい。
- ・ 心を育てるのは言葉です。やさしい子になってね。できたら、できたね。大人の評言(評価する言葉)が大切。繰り返すことで子どもは伸びていく。

大変有意義な時間が皆さまと共有できてうれしく思いました。来年も参加お願いします。

